

船橋市

市民公益活動公募型支援事業

実施事業事例集



「市民公益活動公募型支援事業 実施事業事例集」の発行にあたって

「市民公益活動公募型支援事業 実施事業事例集」は、当事業を創設した平成22年度から毎年度作成しており、今年度で7冊目となります。

今回の事例集では、平成28年度実施事業として採択された8件の事業について、実施した事業の内容や支援金の支出内容、今後の展望等について、各団体が記述しています。

なお、平成22年度からの実施事業事例集は、船橋市のホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

【市民公益活動公募型支援事業 平成28年度実施事業一覧】

事業立上型

No	団体名	事業名称	頁
1	NPO法人生き方応援団ララ	心のバリアフリーで船橋をモデル都市に！障がい福祉事業	3

事業提案型

No	団体名	事業名称	頁
2	ふれあい船橋	触れ合うことによるコミュニケーションの提案事業	4
3	NPO法人環境を考える市民の会	市民と育む持続可能な環境に向け学び塾の実施	5
4	三番瀬写真展実行委員会	第4回みんなの三番瀬写真展	6
5	NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会	三番瀬・東京湾のお魚・生き物出前授業	7
6	船橋市援農クラブ	農業ボランティア事業	8
7	船橋ワーキングマザーの会	働く／働きたいママのための地域コミュニティ	9
8	親業ひまわりの会	心と心のかけ橋を作る、コミュニケーションの基本を学び広める公益活動	10

【平成28年度実績詳細】

	申請(件)	採択(件)	交付(件)	支援対象経費(円)	支援金確定額(円)
立上型	1	1	1	174,340	136,212
提案型	9	7	7	1,716,768	852,374
合計	10	8	8	1,891,108	988,586

【これまでの実績】

	交付数(件)			支援金確定額(円)
	立上型	提案型	計	
平成22年度	7	19	26	5,774,342
平成23年度	6	14	20	4,964,504
平成24年度	6	24	30	6,581,484
平成25年度	3	19	22	3,241,578
平成26年度	1	16	17	2,356,318
平成27年度	3	12	15	1,848,986
平成28年度	1	7	8	988,586
合計	27	111	138	25,755,798

【市民公益活動公募型支援事業の概要】

「船橋市市民公益活動公募型支援事業」は、「市民との協働によるまちづくり」があらゆる場面で展開されるように、市民の皆さんによる地域に役立つ取組みに対して、市が必要な支援を行うため、平成22年度に創設されました。市民活動団体から提案のあった事業について、その内容を審査し、公益性や必要性があるとされた事業に対して、市が支援金を交付します。支援金の種類は、「事業立上型」と「事業提案型」があり、それぞれ支援率と上限額を設定しています。

支援金の種別	支援率	限度額
事業立上型 設立から3年未満の市民活動団体が行う新規公益事業の実施に対し交付する支援金（交付は1回に限ります。）	支援対象経費の80%以内	20万円
事業提案型 市が市民活動団体から提案を受けた公益活動の事業費に対し交付する支援金（同一事業による継続は原則3年度を限度とします。）	支援対象経費の50%以内 ※ 1	100万円

※1 提案内容が特に公益性の高い事業であると認められた場合は80%

対象となる事業は、船橋市内で行われる地域課題の具体的な解決に向けて取り組む活動であり、かつ、支援金の交付により成果又は効果が期待できる事業です。申込みがあった事業に対し、公募の市民委員を含む「市民活動支援審査会」において、「公益性」「効果性」「適格性」「必要性」「新規性・アイディア性」「連携性・協働性」の観点に立った評価が行われ、選定されます。

評価項目	審査事項
公益性	対象活動に持続性があり、広く市民の利益に貢献するものであること。
効果性	対象活動に対して支援金を交付することが、費用対効果の観点からみて適切であること。
適格性	団体の運営基盤が資金面、人員面において整っており、対象活動が団体の活動体制・推進能力に見合ったもので、実現可能な取組みであること。
必要性	社会的必要性の認められる活動で、市の公益課題の改善に資するものであること。
新規性・アイディア性	対象活動の目的の設定、実施方法に新たな着想や創意工夫があり、社会的に有用な取組みとして効果が期待できること。
連携性・協働性	民産学官等連携した取組みにより事業成果の相乗効果が見込まれること、または、市と協働する必要性、妥当性、課題解決の緊急性、重要性が高く、自立性が確保され、役割分担が適正に行われていること。

〔NPO法人生き方応援団ララ〕

記入日：平成 29 年 2 月 8 日

【団体の概要】

WHOが定める健康の定義「身体的、社会的、精神的健康」を呼びかける活動として、人のやりたいを実現するイベントなどを開催。

更には様々な能力を持った仲間たちがサポートしたり、指導したりすることで、実現に向けての壁を壊すことをしています。

個人事業応援、イベント事業、福祉事業を行っています。



【月一イベント講演王の様子】

事業報告

【支援金確定額：136,212 円 支援率：78.1%】

■実施した事業の内容

月1で講演イベントを開催し、障がいのある方にもそうでない方にも有意義な情報を発信しました。

一般の方に講演していただいたりすることにより、参加した障がいのある方にも登壇したいという想いが湧き上がったりととても素敵な会になっていました。

また、講演のテクニック等々を学ぶ機会も作らせていただき、そちらに関しても多くのスピーカーを育てることにひとつ役立てたように思います。

参加者20人弱のところにも必ず障がいのある方が10名ほどいるような状況も作れ、参加されてる一般の方が本当に当たり前に障がい者と接する機会になっていました。

スタッフとしても障がいのある方が立ってくださり、本人の自信にも、また健常と呼ばれる方の意識改革にもなれたように思います。イベントのアンケートに関しては満足度が高く、再開の希望は今も絶えません。

■支援金の支出内容

スタッフTシャツを製作させていただいた結果、スタッフのモチベーションにもつながったように感じます。イベントに使うパワーポイントの為にiPadを購入させていただきました。イベントの質の向上にもつながり、とても有意義に使わせていただきました。

講師と呼ばせていただいた方の講演料としても使わせていただきました。質の高い講演を多くの方に提供でき、また一般の方で講演経験のない方のお話に価値をつけることも出来、とても感謝しています。

講演の際の会場費にも充てさせていただきました。

■事業の成果と今後の展望

イベントにかかわってくれた当法人の団員様のスキルアップはもちろんのこと、参加してくださった障がいをお持ちの皆様から「参加出来てよかった」の声が沢山聞けて有意義でした。一般のお客様からの声も障がいのある方と同じで、気持ちの共有、場の共有が普通に行われたことがとても嬉しいイベントでした。

今後としては、ララとしてのイベントはすべて障がいのある方も関わるものとし、広く一般の方と障がいのある方の接点になるようなイベントを開催していきます。さらにイベントの中核にもすべての人を絡めていきます。



【月一開催の講演王の様子】

■問い合わせ先：理事長 山田 賢明（やまだ よしあき）

TEL：047-470-4154

E-mail：info@ikikata-lala.org

〔ふれあい船橋〕

記入日：平成29年4月1日

【団体の概要】

身近な誰もがすぐ実践できる〈心のサポート〉として、『アロマハンドトリートメントによるふれあいのコミュニケーション』を広め、身近な方とのより良いコミュニケーションを促すための活動を行なっている。ふれあいをテーマとした講習会。また、実践活動としてハンドトリートメント訪問活動をし、施設に向けて行っている。



【訪問活動の様子】

事業報告

【支援金確定額：64,370円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

- ・船橋市勤労市民センターにて講習会を実施
- ・市内学生ボランティアイベントに参加
- ・市内イベントにて体験会を実施
- ・市内デイケアにてアロマハンドトリートメント訪問活動を実施

■支援金の支出内容

- ・訪問活動時使用するオイル等購入
- ・イベント出展のための消耗品購入



【ふれあい講習の様子】

■事業の成果と今後の展望

講習会において、コミュニケーションについて考えていただく内容を実施し、触れ合うことの心理的な影響を実際に体験していただきました。体験会では、のべ74名の方にアロマハンドトリートメントを実施し、ふれあい船橋の活動告知と活動参加の呼びかけを行いました。訪問活動では、のべ278名にアロマハンドトリートメントを実施。ご利用者の方の大切な時間の1部として機能していることを実感しました。今後は現在のデイケア施設だけでなく、グループホーム等からの依頼もあり、人員等の確実な配置のためのスキルフォローを行います。また、各種イベントへの出展を行い、会費のみでの運営から、自立した会の運営を目指します。今後も継続して触れ合うことの重要性を伝える活動を行っていきたいと考えています。

■問い合わせ先：代表 後長 美香子（ごちょう みかこ）

TEL：080-3719-1788

E mail：fureai.funabashi@gmail.com

〔NPO 法人環境を考える市民の会〕

記入日：平成 29 年 2 月 6 日

【団体の概要】

私たちは昔のようなゆとりある「海老川」環境を取り戻し地域住民の幸せかつ安全な生活環境を構築するため、海老川界隈の水環境の再生と保全に向けテーマ設定施策事業を実施しています。①水環境の保護保全：海老川観察と清掃、②水を通しての町づくりと市民との交流：海老川親水市民まつり開催、海老川長津川福像めぐり開催、③みらいある子供達のための健全育成：環境学習の啓発と実施、環境学びの場作り、写生会、絵画コンクール、自転車安全教室、施設訪問、講習会、体験見学等



【夏休み学びの場の一コマ】

事業報告

【支援金確定額：201,425 円 支援率：49.1%】

■実施した事業の内容

次世代のために住み良い環境を残していくには自然環境を可能なかぎり維持守る事が必至であると、そのためには、子供達に伝え継ぐ学びの貴重な時間(場)を提供することと痛切に感じています。

私たちは28年度の活動の中で、最近機械文明に振り回され、自然環境との触れ合いが希薄になっている子供達を見ると、自然がどんなに大切であるかを導き育む活動が大切だとして出前環境学習、自然観察など、「学び塾・学びの場」を実施しました。この活動を継続することは市民や子供達が自然環境を知り、関りを持ったことで環境に対する向上心(やさしさ)が養われると、信じます。

【実施内容】

- ① 出前環境学習7月14日(木) 当会と正伯塾、県葛南土木事務所の協力を得て八栄小学校に於いて実施 120人参加
- ② 夏休み「子供学びの場」8月8日(月) 13時～17時 夏見公民館 子供20人、大人5人、指導4人
 - 平沢先生講義：地球温暖化と木・近くの森で木の心臓音を聴き生きている事を実感
 - 関先生の講話：セミのお話し・抜け殻と雄雌の見分け方と習性
 - 青塚先生と佐藤先生の自然の葉、実、種の工作
- ③ 地域の自然と触れ合う「海老川源流から河口まで」11月12日(土) 実施 28人参加
 - 海老川源流お滝金蔵院の湧き水見学 ■星影神社の由来お話と見学 ■金杉の森見学 ■金杉緑地と里山見学 ■海老川河口と海・講師のお話

■支援金の支出内容

事業実施に当たり啓発用のチラシ、ポスター、パンフレット、クリアファイル等の印刷費、スタッフジャンパー、植栽用花、水質検査用キッド等の消耗諸経費また、「学びの場」に対する適所の講師謝金、通信費として啓発資料の送付切手、お知らせハガキ代の連絡通信に適用致しました。



【お滝金蔵院の湧き水見学】

■事業の成果と今後の展望

「環境学びの塾」の参加者はまだまだですがその成果はあったと実感します。今後もこの活動を持続継続して行くため「学び塾」の重要性とその啓発の在り方を更に充実して行きたい。

- ① 自然環境に順応出来ない子供達をマイナスからプラスに
- ② 環境保全の啓発、体験の場を多く提供
- ③ 市民が参加しやすい場を考え環境関心人口を増やしたい

■問い合わせ先：事務局長 菊地 けい子 (きくち けいこ)

TEL：047-465-7790

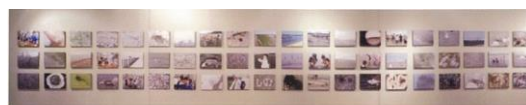
E-mail：kikuchi-14719@lake.dti.ne.jp

〔三番瀬写真展実行委員会〕

記入日：平成29年3月8日

【団体の概要】

平成21年発足。21、22年は千葉県三番瀬サテライトオフィスに三番瀬の写真を展示。26、27年は(一財)千葉県環境財団京葉ガス/京和ガスエコ・アクションサポート事業「みんなの三番瀬観察撮影会」写真集作成。参加者の作品を含めた写真展開催。28年は県民の環境活動支援事業として同事業を開催。27、28年は船橋市市民公益活動公募型支援事業の支援金をいただき船橋市民ギャラリーで参加者の作品を含めた写真展を開催。



手作りの参加者作品



来場者の作品

事業報告

【支援金確定額：13,335円 支援率：43.1%】 【第4回みんなの三番瀬写真展 9/30～10/4】

■実施した事業の内容

(一財)千葉県環境財団平成28年度県民の環境活動支援事業「私たちの三番瀬自然観察・撮影会」を7月17日(日)に実施。午前、観察撮影会。午後、作品作りと貝殻工作。

《平成28年度船橋市市民公益活動公募型支援事業》の支援金を使わせていただき【第4回みんなの三番瀬写真展】を開催。会場にはミニミニ三番瀬コーナーを作り三番瀬の貝殻で工作を楽しんでいただくコーナーを作り、自由に工作を楽しんでいただきました。

■支援金の支出内容

第4回みんなの三番瀬写真展の案内状、チラシ、ポスター作成費用
貝殻工作の備品代(ビーズ、テグス、ボンド、ハサミなどの購入)一式



ロバ

考える人

【漂白した貝殻で作りました】

■事業の成果と今後の展望

27年度市民活動の実績報告をフェイスビル5階のエスカレーター前でさせていただきました。お陰様で、観察・撮影会は大賑わい。各々、三番瀬の今を撮影。「第4回みんなの三番瀬写真展」(市民公益活動公募型支援事業)の為に作品を作成。写真展には430名の方が来場され熱心に作品を見入ってくださいました。活動を纏めた「みんなの三番瀬写真集2016」は参加者、関係各位、国会図書館、県立中央図書館、船橋市4図書館に寄贈。今年度の写真集も切望されています。今年も潮騒に共鳴し、干潟の生き物達と戯れて、一瞬を捕え作品を作成する「私たちの三番瀬自然観察・撮影会」を8月20日(日)に実施。12月初旬に平成29年度市民公益活動公募型支援事業「第5回みんなの三番瀬写真展」を実施します。

■問い合わせ先：代表 中村 ひろ子 (なかむら ひろこ)

TEL：080-4203-1278

E-mail：nhik1288@softbank.ne.jp

〔NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会〕

記入日：平成29年6月5日

【団体の概要】

私たちはできるだけ多くの市民、企業、大学、行政などに参加を呼びかけ、東京湾に僅かに残された三番瀬の豊かな自然環境を保全するため、ラムサール条約に登録することを目的として活動しています。

具体的にはラムサール条約登録実現に向けて、年間行動計画をもとに勉強会、観察会（ふなばし三番瀬海浜公園）、シンポジウム、写真展、三番瀬食文化出前講座等を開催しています。また皆様の声を署名用紙に託して署名活動（千葉県に14万筆提出済）もしています。



【御菜浦・三番瀬ふなばし港まつりに参加】
（三番瀬水族館事業）

事業報告

【支援金確定額：114,304円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

船橋市主催のふなばし環境フェア、他団体のイベントでは海老川親水市民まつり、御菜浦・三番瀬ふなばし港まつり等で「東京湾に沢山の種類の魚、生き物がいるか？」を自分の目で確かめてもらいました（水槽の中にある生き物の観察、タッチプールではアカエイ、ドチザメ、コモンカスベ等の珍しい魚を触ってもらいました）。アサリや牡蠣の水質浄化作用の実験をして三番瀬、東京湾の干潟の特徴と役割を理解していただきました。そして「ミニミニ三番瀬」と題してイベントの開催日の前日にふなばし三番瀬海浜公園の前浜で採取してきたヤドカリ、マメコブシガニ、コメツキガニ等を展示しました（多くの子ども達が喜んでその場を離れたくないという姿が印象的でした）。

「江戸前の魚を知ろう！」では座学で現役の漁師さん（北里大学水産学部卒業）より東京湾で獲れる魚介類を解りやすく教えていただき、その後参加者全員で献立を考え調理実習を行いました。

漁港の朝市に参加し、漁師さんによるお魚のさばき方教室や生き物（船橋漁港で水揚げされた魚介類）の展示を行いました。

■支援金の支出内容

それぞれの出前授業で水槽、タッチプール展示に必要なビニールプール。水槽やインク、コピー用紙等の消耗品費や原材料費（魚介類）、講師等への謝礼金に支援金を支出しました。御菜浦・三番瀬ふなばし港まつりに出展し、会場の広さに負けず、東京湾で獲れる魚介類を水槽・タッチプール展示等を行い「三番瀬水族館」という名の大きな事業を行いました。



【ふなばし環境フェアに参加】
（タッチプール展示）

■事業の成果と今後の展望

「江戸前の魚を知ろう！」の調理実習では座学で使用した魚介類を使って、それぞれの特徴を活かした調理の仕方を皆で考えて行いました。

市及び他団体主催のイベントで出前授業を行ったことにより多くの市民に五感で自然豊かな海・三番瀬の重要性と三番瀬は都市型漁業が今でも営まれている宝の海であることを実感していただきました。団体の目標の実現に向けてこれからも継続していける様に当会の基盤強化に努めたいと思いました。

■問い合わせ先：理事事務局次長兼会計 渡辺 優子（わたなべ ゆうこ）

TEL：047-422-0772

E-mail：yuko-lapislazuli25@nifty.com

〔船橋市援農クラブ〕

記入日：平成29年2月10日

【団体の概要】

船橋市内の遊休農地保全と自然環境保護を目的とし、野菜栽培を通して、会員の技術、技能の習得を図りながら福祉施設等への野菜提供、市民参加の農業体験、学校等の農作物収穫体験を実施している。

船橋市内の農家へ、年間を通して協力、援助を行っています。これらを通して、会員同士の融和を図り生きがい共有する。



【農業ボランティア作業】

事業報告

【支援金確定額：149,975円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

1. 船橋市内の遊休農地対策として、約一町歩の圃場に野菜栽培の自主耕作を行い、作物は市内福祉施設等に提供を実施している。また、サツマイモ、ジャガイモ等を作付けして、農業の収穫体験を支援学校や市内の団体などに行っています
 2. 船橋市内農家12軒へ農業ボランティア作業を実施しています
 3. 事業実績
 - 平成28年 6月、10月、12月、農家との直売会協賛
 - 6月、10月、市内福祉施設等に野菜の提供
 - 7月、市民、農作物収穫体験
 - 10月、船橋市特別支援学校、サツマイモ掘り体験、3回
 - 10月、市内団体サツマイモ掘り体験
 - 10月、市内の親子農業体験
 - 10月、アンデルセン公園にて直売会
 - 11月、市農水産まつりに農産物の提供
- 平成28年の1年間を通して、農業ボランティア作業

■支援金の支出内容

主なものは、事業実施における種子、苗、農薬、肥料、農業資材等に支援金を支出しました。



【サツマイモ掘り体験の様子】

■事業の成果と今後の展望

援農クラブ発足当時に比べて、遊休農地の活用が3倍になり収穫野菜を通して、農業体験、野菜の提供、野菜の直売等が年々充実してきています。

本年は、援農クラブの活動が、5年目の節目に当たります。

会員100名を目途に増員を図るとともに、遊休農地の保全を確保し、それに見合った農業ボランティアを実施していきます。

農家へのお手伝いについても、30軒程度まで増やしていきます。

■問い合わせ先：代表 野口 廣之（のぐち ひろゆき）

TEL：047-422-1127

E-mail：—

〔船橋ワーキングマザーの会〕

記入日：平成29年3月15日

【団体の概要】

■目的：働く女性が、ママとして、職業人として、そして個人としてもイキイキと輝くことを目指します。地域の働くママを元気にし、子育て環境、両立就業環境の向上に寄与します。

■主な活動：登録会員数約380名。

・メインの支援層：育児休暇中～復帰後数年の働くママ

①毎月1回のイベント（交流会、学習会など）開催による、直接対面機会の設定②ブログ、SNSを活用した情報交換機会設定③地域のイベント参加、子育て支援機関との連携など



【←小1の壁勉強会
↓復職準備講座】



事業報告

【支援金確定額：171,312円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

①毎月のイベント開催、イベント告知を含むSNSやブログでの情報発信を行いました。

以下、開催イベントのタイトル（カッコ内は参加組数（内カップル参加数））。

4月10日「保育園を共働き子育ての最強の味方にする方法」（15（6））

5月14日「今の自分よりワンランクアップ！ワーママ好印象メイク講座」（4）

6月25日「乳幼児からできる歯の健康講座」（8（3））

7月16日「”小1の壁”勉強会」（17（3））

8月6日「ほかつの基礎の基礎！保育園をもっと知ろう～安心して預けて働くために～」（18（9））

9月10日「簡単！子どもも喜ぶ野菜たっぷり時短料理」（7）

10月19日「子育て応援メッセ」展示ブース出展

及びワークショップ「私にもできる？家庭と仕事両立講座」（4（3））

11月26日「共働きCafé～育休パパママ交流会～」（10（3））

12月10日「年忘れ交流会★親子で楽しむ英語遊び付き」（7（2））

1月29日「夫婦で働き・夫婦で子育て応援講座」（7（3））

2月18日「共働きでこれから2人目、3人目を考える」（9（5））

3月26日「復職直前！家族で迎える復職支援講座」（16（5））

※年間のべ122組（168名）のママ・パパに参加いただきました。

②これまでの4年間の活動のまとめとして、小冊子「復職準備サポートガイド」を制作しました。

■支援金の支出内容

- ・イベント会場、講師、保育スタッフ、資料印刷代等の毎月のイベント開催に関わる費用
- ・小冊子制作のための費用
- ・消耗品、チラシ等広報ツールを主とした会の運営に関わる費用に充てさせていただきました



【復職準備サポートガイド】

■事業の成果と今後の展望

事業立ち上げから4年間の長い間、ご支援をいただき誠にありがとうございました。乳幼児を育てながら働く、当事者のワーキングマザーが相互支援のための市民活動を行う運営のノウハウが蓄積され、仕組みができてきました。今後次の世代にバトンを繋いでいくとともに、母親だけが仕事・家事・育児を抱え込むのではなく、夫婦で働き、夫婦で子育てをして暮らしていくスタンダードの底上げに寄与していきたいと考え、共働き家庭のネットワークづくりを継続していきます。

今年度は小冊子の制作により、活動のまとめができ、直接会に参加できない方への情報提供が可能に。今後は、多方面からの協賛支援を得ながら船橋市内および県内外への情報発信力を高めていきたいと考えています。今後ご指導ご支援のほどよろしくお願いいたします。

■問い合わせ先：事務局代表 高橋 奈緒子（たかはし なをこ）

TEL：080-3485-6019

E-mail：fwmama@gmail.com

〔親業ひまわりの会〕

記入日：平成29年3月31日

【団体の概要】

人間関係が希薄な現代において、いじめや不登校、虐待などの社会問題を解決するため、温かく信頼関係が築けるコミュニケーションのコツを、和やかに、わかりやすくお伝えするセミナーを開催する活動です。

セミナーの内容は、ノーベル平和賞に3度ノミネートされた、ゴードン・メソッド（親業）です。



【セミナーでのなごやか体験ワーク】

事業報告

【支援金確定額：137,653円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

市内の公共施設（勤労市民センター、東部公民館）で、一般市民の方を対象に、親業セミナーを年間10回行いました。

- 一回90分のセミナーで、①相手が悩みを打ち明けた時の聴き方（受容の仕方）
②相手のプライドを傷つけない伝え方（物の言い方）
③いじめや不登校、親子関係などで悩んでいる人への寄り添い方 など。

理論の説明の後に、体験ワークを取り入れて、具体的に実践できるようにしました。お隣の方とも、親しくお話ができたり、気づきや希望も見えてきて、温かい雰囲気になりました。

毎回、アンケートで感想を書いて頂きましたが、ほとんどの人が「とても良かった」と回答して下さい、「今日から、習ったことを実践したい」「子どもとの関係を良くしたい」「職場の人間関係に役立てたい」「参加して本当に良かった」など、感謝される活動となりました。

■支援金の支出内容

事業の開催広報や、参加者募集のチラシを作成するための材料費や印刷費、会場使用料や保育スタッフ代、配布資料や、関係する書籍代、チラシの配送代、事務用品代などに使わせて頂きました。



【満員御礼のセミナー】

■事業の成果と今後の展望

事業の内容が好評で、多くの人に認められ、市議会でも取り上げられたことから、行政も本格的に、活動に協力して下さるところまで発展しました。

当チラシを市内の全小学校の児童に配布して頂いたり、全児童ホームに配布して頂けることになりましたので、更に事業を継続し、一人でも多くの方のお役に立てる市民活動団体でありたいと思っています。

■問い合わせ先：代表 堀川 佳子（ほりかわ よしこ）

TEL：047-477-2077

E-mail：kokorohana2077@gmail.com

船橋市 市民生活部 市民協働課
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
TEL : 047-436-3201
E-mail : shiminkyodo@city.funabashi.lg.jp